

都市・地域交通戦略の評価指標の更新案

戦略目標	目標が達成された姿	評価指標	指標の説明	計画策定時		補完指標追加時 〔参考値〕		ステップ1完了時(R9)の目標値	ステップ2完了時(R18)の目標値	関連性が高い施策 (◎：特に高い)	備考
【補完指標】 まちの拠点整備に関する満足度			総合計画に関する市民意識調査における分倍河原駅周辺地区の近隣居住者が回答した、まちの拠点整備に係る満足度（そう思う、ややそう思う）の割合	—	—	R4	44.6%	44.6%+α (補完指標追加時より増加)	44.6%+α 以上 (ステップ1完了時より増加)	全施策	【追加理由】 各施策全体を補完する指標を追加することにより、総合的にまちづくりへの市民の評価を計測する。
目標1 安全・安心して歩いている 歩行者の安全・安心が守られている 駅前空間の形成	歩行者の安全・安心が守られている	①歩行者交通環境の満足度	駅周辺の利用者ヒアリング調査(約400人)で、「とても歩きやすい」「歩きやすい」と回答した割合(%)。(※市独自調査)	H29	歩きやすい 31%	[R5]	[歩きやすい 62%]	歩きやすい 37%	歩きやすい 65%以上	◎1-6 ◎2-3 1-1~5 1-7/2-1	—
		②歩行者交通事故の件数	分倍河原駅周辺地区内における直近5年間の歩行者交通事故件数の年平均値(件/年)(※警視庁資料)	H24 ~ H28 平均	2.2件	[H30 ~ R4 平均]	[1.4件]	0件	0件	◎1-7 1-2, 3, 5 /2-3	—
	回遊性が高まり、にぎわいが広がっている	③商店街の歩行者数	歩行者交通量調査(平日14時間調査)結果における駅北側の商店街歩行者通行量(人:14時間)(※市独自調査)	H28	18,004人 (平日6:30~20:30)	[R5]	[4.0%の減少 (17,290人)]	3.5%以上の増加 (約18,600人)	10%以上の増加 (約19,800人)	◎1-1 1-2~4, 6	【今後の方向性】 ポストコロナ社会を踏まえて動向を注視し、目標値の修正等の対応を検討する。
目標2 安全・便利に利用でき、歩行者と共存し得る自転車利用環境の充実	駅周辺に安全に自転車でアクセスできる	④自転車駐車場の状況	分倍河原駅周辺の市営自転車駐車場の定期待ち人数(人)及び一日平均利用率(%) (※市資料:定期待ち人数及び自転車駐車場の一日平均利用率)	H29	待ち人数: 200人 利用率: :29%(北) :114%(北第2) :108%(南) ※利用率は一時+定期	[R5]	[待ち人数: 79人(南) 利用率: 27%(北) 107%(北第2) 95%(南)]	待ち人数:0人 各駐車場の利用率: :75%以上に平準化	待ち人数:0人 各駐車場の利用率: :75%以上に平準化	◎2-2 2-1	—
	歩行者と共存して、自転車が利用されている	①歩行者交通環境の満足度	< 再掲 >								
		【補完指標】 商店街の自転車数	市実施の自転車交通量調査結果において、商店街の歩行者量のピーク時(6:30~9:30)に自転車押し歩きを行っている割合。(※市独自調査、R5.12.8実施)	—	—	R5	押し歩き率4% 〔乗車走行107台〕	押し歩き率25%	押し歩き率75%以上	◎1-4 ◎2-3 1-2, 6/2-1	【追加理由】 自転車交通に係る指標により、歩行者と自転車が共存するまちの達成後を補完する。
目標3 利便性・快適性・分かりやすさを備えた駅・交通基盤への改良	便利・快適に公共交通等が利用できる	⑤自駅乗降客数	歩行者交通量調査(始発~終電)結果における駅乗降客数(※乗換客数を含まない)(人)(※市独自調査)	H29	42,617人	[R5]	[20.5%の減少 (33,901人)]	3.5%以上の増加 (約44,100人)	10%以上の増加 (約46,900人)	◎3-1 1-6/3-2	【今後の方向性】 ポストコロナ社会を踏まえて動向を注視し、目標値の修正等の対応を検討する。
		⑥適合していないスロープの箇所数	「府中市福祉のまちづくり条例」に定める整備基準のスロープ勾配限度を満たさないスロープ箇所数(か所)(※市資料)	H29	2か所	[R5]	[2か所]	2か所	0か所	◎1-1 1-4, 6 /3-1, 2	—